

ガーデンシティふかや推進室 [ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

第17回 ♪王国の自然の中で、さまざまな演奏が目の前で楽しめます。
♪ご家族お友達をお誘いのうえ、ぜひお越しください。

森の音楽祭

入場無料

10.25 土

午前10時～午後3時

雨天中止

緑の王国 inふかや緑の王国

ギター、ウクレレ、オカリナ、コカリナ、篠笛、尺八、ハーモニカ、和太鼓の演奏や、フォルクローレ、吹奏楽など、さまざまな生音での演奏が目の前で楽しめます。
※詳しくは、ふかや緑の王国のホームページをご覧ください。

イベントの内容

王国窯焼きピザ販売、授産施設による軽食・物品販売、王国オリジナル品販売、花苗販売、木工工芸品販売、山野草展、消防車展示、パトカー展示、こま回し体験、万華鏡づくり、王国探検ゲーム、来場者プレゼントなどを予定しています。

プレゼントのイメージ



※施設内の駐車場は限りがありますので、下記の臨時駐車場をご利用ください(障害者用駐車場は通用門側にあります)。
臨時駐車場:花植木流通センター外東側(徒歩2分)、榎引西部自治会館(徒歩2分)、JAふかや榎引プラザ(徒歩12分)、榎引ふれあいスポーツ広場(徒歩13分)

関連イベント

10/19 日
午前10時～午後3時

第14回 Music Festival of Flowers
花の音楽祭
& 秋野菜まつり
in深谷グリーンパーク

楽器弾き語りから電子楽器を使った演奏まで、さまざまな音楽が楽しめるほか、キッズダンス、キッチンカー、野菜の販売などを予定しています。ふっかちゃんも登場! ※雨天中止
ところ 深谷グリーンパーク(☎574-5000)

『秋の収穫体験』参加者募集

とき 11月8日(土)午前9時30分～10時10分、午前10時30分～11時10分(雨天決行)

ところ ふかや緑の王国

内容 サトイモ、ダイコンの収穫

定員 各回10組(抽選)

※1組4人まで
※中学生以下のかたが参加する場合は保護者同伴

参加料 1組1,000円

申し込み 10月22日(水)午前9時から27日(月)午後5時までに電子申請(右記QRコードからアクセス) ※電子申請ができないかたは電話で申し込み可



▲昨年の収穫体験の様子

『春まで楽しめる寄せ植え教室』参加者募集

フリルパンジーを使い、おしゃべりでかわいい寄せ植えを作りますか。初心者のかたも大歓迎です。

とき 11月12日(水)午前10時～11時30分

ところ ふかや緑の王国

定員 20人(抽選)

参加料 3,000円(材料費を含む)

講師 島村師子氏(花ハウスシママラ)

申し込み 10月29日(水)午前9時から11月4日(月)午後5時までに電子申請(右記QRコードからアクセス) ※1回の申し込みで2人まで ※電子申請ができないかたは電話で申し込み可



▲作品イメージ



ふっかちゃん子ども福祉事業

「ふっかちゃん子ども福祉基金」を活用し下記の助成事業を実施しています! 詳しくはお問い合わせください

	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	深谷市ふっかちゃん障害児療育経費助成事業	深谷市ふっかちゃん障害児スポーツ助成事業
助成内容	補聴器の購入費用の一部、またはこの事業で購入した補聴器の修理費用の一部	障害児が、医師の指示のもと実施される専門性の高い療育事業に参加した場合、その経費の一部	障害児が行う障害者スポーツに必要な補装具・用具・消耗品の購入費用など
助成対象	次の要件すべてを満たす18歳年度末(18歳に達する日以降の最初の3月31日)までの難聴児①深谷市に住所を有する、②いずれかの耳または両耳の聴力レベルが25デシベル以上で、身体障害者手帳の交付対象とならない、③装用により言語の習得など一定の効果が期待できると医師が判断	次の要件すべてを満たす18歳未満の障害児または障害児の保護者①障害児または障害児の保護者のいずれかが深谷市に住所を有する、②対象の療育事業(音楽療法、ソーシャルスキル、ヴィジョントレーニングなど)に参加した	次の要件すべてを満たす18歳年度末(18歳に達する日以降の最初の3月31日)までの障害児①深谷市に住所を有する、または在勤・在学している、②障害者スポーツに必要な補装具の購入・修理または用具・消耗品の購入
助成金額	購入する補聴器の種類や修理内容により異なります。	参加費用の2分の1(100円未満切捨て) ※月額上限5,000円	<ul style="list-style-type: none"> 補装具の購入または修理費の10分の9(年間上限50万円) 用具または消耗品費の2分の1(年間上限4万円)
備考	購入する前に申請が必要です。	障害者手帳を所持していないかたも医師の意見書により助成を受けられる場合があります。	対象スポーツであれば部活などで使用する場合も対象(授業で使用する場合は対象外)。障害者手帳を所持していないかたも、医師の意見書などにより助成を受けられる場合があります。

☎障害福祉課 (☎ 571 - 1011・FAX 574 - 6667)

ふっかちゃん血洗島

栄一は血洗島村(現在の深谷市血洗島)に生まれました。いかにも恐ろしげなこの地名の由来には、さまざまな説があり、はっきりとは分かっていません。栄一も由来について聞かれると、信ぴょう性に欠ける言い伝えだとして、「赤城山の山霊が他の山の山霊と戦って、負った傷をこけて洗った」という話を紹介しています。その他にも、アイヌ語を語源とする説や、氾濫した利根川により土地が洗われる様子の「地洗い」が転じて「血洗」になったとする説などがあります。

「淵の上」と呼ばれていました。栄一の雅号(芸術や文筆活動で使う美しい別名)である「青淵」は、この淵にちなみ、いとこの尾高惇忠から付けてもらったもので、栄一が書き残した作品の多くに「青淵」の署名を見ることが出来ます。この淵はやがて枯れてしまいましたが、青淵公園(下手計1241)内に残る「青淵由来之跡」の碑が現在もその跡を示しています。

晩年になると、栄一は、獅子舞が奉納される血洗島諏訪神社の秋の祭礼に合わせ、毎年のように帰郷し、現在も残る「中の家」主屋の上座敷に滞在しました。そして、栄一自身も舞手を務めた獅子舞を見物しました。この「血洗島獅子舞」は、近代化とともに衰退の兆しを見せましたが、村人を励まして復興させたのが栄一でした。栄一が愛した血洗島獅子舞は、10月19日(日)に開催される血洗島諏訪神社の秋の祭礼で今年も奉納される予定です。



▲血洗島獅子舞

